

令和6年度一般会計9月補正予算案(第2号)

大分県総務部財政課
令和6年8月20日

能登半島地震を踏まえた防災対策の見直しを進める中で早急に対応が必要な経費を計上するとともに、賃上げや働き方改革の実現に向けた取組などを推進します。また、令和5年度決算剰余金を財政調整用基金等に積み立てます。

1 補正概要

補正予算案	10,128,015 千円
既決予算額	689,979,814 千円
累計	700,107,829 千円

【歳入の内訳】

国庫支出金	3,704 千円
繰入金	238,345 千円
(うち災害救助基金)	136,345 千円)
(うち地域医療介護総合確保基金)	102,000 千円)
諸収入	1,800,000 千円
繰越金	8,085,966 千円

【財政調整用基金残高見込】

財政調整用基金残高見込	約311 億円
-------------	---------

2 補正事業の内容

(1) 大規模災害に備えた防災対策の強化

(単位：千円)

事業名	予算案	事業の概要	所管課
1 備蓄物資管理費	(119,235) 136,345 255,580	【新】災害時における避難所の衛生環境を確保するため、備蓄基準を見直し、携帯トイレの備蓄を拡充する。 ・備蓄数量 最大想定避難者数18万人分(発災後3日分)のうち県備蓄分 67.5万回 ※備蓄割合 県1/4 市町村1/4 流通備蓄1/2	福祉保健企画課
2 災害時通信環境強化事業	(0) 5,858 5,858	災害時における通信環境を強化するため、通信障害発生に備えた代替手段として、県の災害対策本部等に衛星通信機器を導入する。 ・導入数 10台	防災対策企画課

(2) 賃上げと働き方改革の実現

(単位：千円)

事業名	予算案	事業の概要	所管課
3 中小企業金融対策費	(68,513,528) 1,825,055 70,338,583	【新】持続可能な賃上げの実現に向けた中小・小規模事業者の経営力強化を図るため、事業計画を策定し、専門家のサポートを受けながら収益拡大に取り組む事業者向けの制度資金を創設する。 ・資金名 経営力強化資金 ・融資限度額 2億8,000万円 ・融資期間 10年以内(うち据置期間1年以内) ・融資利率 1.8~2.0% 保証料率 0.00% 〔債務負担行為 238,253千円〕	経営創造・金融課
4 指定管理施設等運営対策費	(0) 39,899 39,899	急激な人件費の上昇に対応し、早期の賃上げにつなげるため、指定管理委託料の増額を行う。	行政企画課
5 医療機関医師等支援事業	(61,941) 102,000 163,941	【新】医師の労働時間短縮と地域医療提供体制確保の両立を図るため、勤務医の勤務環境改善に取り組む医療機関を支援する。 ・対象 時間外・休日労働時間720h/年超の勤務医が在籍し、以下のいずれかを満たす医療機関 救急搬送件数が1,000件以上2,000件未満 常勤換算医師100床あたり40人以上かつ臨床研修基幹病院 など ・補助率 コメディカル職員の雇用などタスクシフト導入経費等 10/10 勤務管理システムなどICT機器導入経費等 2/3	医療政策課

※ 予算案欄の上段()は既決予算額、中段は補正予算案、下段は累計、(新)は新規事業

(3) その他

(単位：千円)

事業名	予算案	事業の概要	所管課
6 大阪・関西万博出展事業	(0) 5,505 5,505	国内外からの誘客や県産品の販売促進等につなげるため、大阪・関西万博での県の魅力発信に向けた出展準備を進める。 ・大分県ブースの展示デザインの作成 ・県内各地の地域資源PR素材集の制作 〔債務負担行為 4,279千円〕	商工観光労働企画課
7 遠隔教育システム構築事業	(100,855) 73,524 174,379	県内どの地域においても生徒の可能性を最大限に伸ばし、多様で質の高い学びの機会を提供するため、遠隔教育システムの更なる活用に向けた環境整備を行う。 【新】夏休みなど長期休業中の特別講座実施に必要な機器整備 【新】遠隔授業における学校間のグループワーク円滑化や個別指導に必要な機器整備 など	高校教育課
8 決算剰余金の基金への積立	(0) 7,939,829 7,939,829	今後の健全な財政運営を図るため、令和5年度決算剰余に伴う繰越金の一部を財政調整用基金などに積み立てる。 ・財政調整基金 2,695,356 ・減債基金 2,695,356 ・社会福祉振興基金 1,309,776 ・おおいた元気創出基金 1,159,341 ・芸術文化基金 80,000	財政課 福祉保健企画課 芸術文化振興課